



## 今、伝えたいこと ~ 魅力的な職場とは ~

9月下旬頃から、ようやく朝夕に秋らしい涼しさを感じられるようになりました。記録的な酷暑となった今夏、皆さまはどのように乗り越えられたのでしょうか。

さて、日本では長く「少子化」が続き、どの業界でも人手不足が大きな課題になっています。私たち設計の分野でも、次世代を担う若手人材の確保と育成は企業の存続と発展に直結する重要なテーマとなっています。

弊社ではまず「仕事をしやすい環境を作る」ことを大切にしています。子育てや介護をしながら働けるよう在宅勤務や時短勤務を導入したり、効率良く設計できる最新ソフトを取り入れたり。社員が快適に安心して自分の力を発揮できる環境を調えることが、良い建築設計に繋がると信じているからです。

また、若い世代に設計という仕事の面白さを知ってもらうために「インターンシップ」も積極的に行っています。今年の夏は5名の学生さんに、RevitやLumionを使った実際の図面作成や建築プロセスを体験してもらいました。参加した学生さんからは、現場の空気を肌で感じることで改めて設計のやりがいや面白さを確認できたという声もいただいております。

弊社は今年の8月に創立35周年を迎えました。ここまで長く続けられたのも、ひとえに設計事務所の方々、お力添えいただいた協力企業の皆さまや社員の研鑽の賜物と心より感謝いたしております。新しく仲間になってくれる方にとって「魅力的な職場」であることは大切です。待遇だけでなく、自分の成長を実感でき、先輩や仲間と学び合えること。社会に貢献できているという実感を持つこと。そんな環境こそが「ここで長く働きたい」と思ってもらえる一番の理由になるのではないのでしょうか。

少子化という大きな社会課題に直面する中で、だからこそ一人ひとりが働きやすく、成長を実感できる会社づくりが必要だと感じています。これからも、社員皆と一緒に学び合いながら、若い世代とともに未来へ歩んでいける設計会社を目指してまいります。



★創立記念式典にて★



**岩本 茂美** (いわもと しげみ) 株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

それぞれの物件について、社全体でどのように情報を共有していくか。  
若い社員がスムーズに業務に取り組めるようにするために、前裁きの大切さを実感しています。



## ★防災訓練を実施しました★



7月のトカラ列島近海を震源とした地震や8月の線状降水帯を伴う豪雨等、日本各地で災害が発生しています。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、9月1日の防災の日に倣って弊社でも防災訓練を実施しました。今回は地震を想定し、発生時の安全確保、避難経路の確認、避難完了後の流れ等について再確認。前以て非常時の行動について整理してはいましたが思

たよりも速やかに実行できず、訓練の大切さを改めて実感しました。

賞味期限間近の保存食も今回初めて実食！ 停電を想定した暗い室内でカセットコンロを設置してお湯を沸かすのに一苦勞。保存食にはスプーンが付属しており、感心しながら美味しくいただきました。

自分や家族、社員の安全を確保するために身の周りについて危険を認識すること、また、参加できなかった社員にも身を守る行動について共有することが必要だと感じました。

(松尾)

## ★自社ビルの改善プロジェクト★

こんにちは、設計部の中谷です。  
私たちは現在、社員一人ひとりがより働きやすく、快適に過ごせるオフィスを目指して、自社ビルの改善プロジェクトを進めています。今日は、その取り組みを少しご紹介します。  
まず、オフィス改善のヒントを得るためにコクヨマーケティングのライブオフィスを見学してきました。オープンスペースでも集中できる工夫や、打ち合わせスペースを柔軟に活用するアイデア、照明や色による働きやすさの工夫など、さまざまな発見がありました。特に印象的だったのは、会議室や打合せスペース、集中ブースは予約制・時間制とし、ダラダラ長引かないような運用

のルールを設定していた点です。  
いい空間を設えることはもちろん、社内での運用も同じくらい大切であることを実感しました。  
そして、現在ハタなびという働く環境についてのアンケートを社内でも実施中です。「ここをこうしたらもっと働きやすい」「ここがもう少し便利だと嬉しい」といった社員の声を集め、現場で働く社員の意見を反映することで、より働きやすい環境を作っていきたいと考えています。  
さらに、社員同士で意見を出し合う社内ワークショップの開催も検討中です。日々の業務の中で気づいた小さな工夫や改善アイデアを集め、みんなで意見を出し合う場を設

けたいと考えています。  
まだ計画中ではありますが、来年3月完成を目標に取り組んでいますので、来社の際には少しずつ変化していくオフィスの様子にも注目してみてください。  
(中谷)



NEW&HOT

## 設計業務 TOPIX

こんにちは。設計部の姜です。  
今回は、2025年4月に施行された建築基準法改正のうち、「壁量計算」に関する改正の背景と内容について取り上げます。

まず、壁量計算とは、木造建築の耐力を確認する最も基本的な方法で、建物にかかる水平力(地震力や風圧力)に対して、必要な耐力壁



の量が足りているかを確認するものです。  
改正の背景としては、断熱性能の向上や太陽光パネルの設置増加に伴い、建物の重量化が進んでいることがあげられます。  
「軽い屋根」「重い屋根」の区分に応じて必要壁量を算定する従来までの基準では、適切に必要な壁量が算定できないおそれがでてきました。そこで、今回の法改正では、木造建築全体の安全性をより確実に担保できるルールへと見直しがされました。

改正の内容は下記の通りです。  
**<従来>**  
「軽い屋根」「重い屋根」で区分して必要壁量を算定  
**<改正後>**  
実際の荷重を反映(太陽光パネル等も考慮)  
法律は時代とともにどんどんアップデートされていきますが、設計者として、新しい基準やその趣旨を正しく理解し、設計に取り組みたいと思います。  
(姜)

## ★木造建築物における壁量計算の見直しについて★



「想い・安全・未来をカタチに」  
**株式会社 傳設計**  
DEN ARCH.& ENG.OFFICE

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル  
TEL: 092-737-1500 (代表) / FAX: 092-737-1501  
URL: <https://www.dens.co.jp/>  
E-mail: [dens@dens.co.jp](mailto:dens@dens.co.jp)